

## 高齢者虐待に関する高松市の状況

### 1 高松市の状況

直近の3年間（平成27年度から29年度）で、高松市に新規で相談があった虐待事例を分析し、平成29年度の虐待事例状況をグラフで表しました。

#### (1) 高齢者虐待に関する調査結果（概要）

##### ■ 相談通報受付場所について

	長寿	介護	包括	保セ	警察	病院	その他※	計
H29	4 8%	6 11%	19 36%	1 2%	19 36%	2 4%	1 2%	52
H28	2 5%	0	26 65%	0	12 30%	0	0	40
H27	1 1%	16 19%	49 58%	0	14 16%	1 1%	4 5%	85

※その他

H29（内容不明）  
H27（香川県2、老人介護支援センター1、他市1）

- 虐待の相談は、どの年度も地域包括支援センター及び警察への通報が多く、合わせると7割を超えている。

##### ■ 相談者について

	本人	配偶者	息子 息子の配偶者	娘	孫・甥・姪	近隣者	民生委員	病院職員	介護支援専門員	介護施設従事者	警察	その他※	計
H29	19 36%	0 —	1 1%	4 8%	2 4%	3 6%	2 4%	2 4%	11 21%	3 6%	2 4%	3 6%	52
H28	11 28%	1 2%	2 6%	3 7%	0 —	0 —	0 —	1 2%	14 35%	2 6%	3 7%	3 7%	40
H27	14 16%	1 1%	4 5%	4 5%	2 2%	2 2%	6 7%	5 6%	22 26%	15 18%	1 1%	9 11%	85

※ その他…H29（匿名[電話]1、匿名[投書]1、通行人1）、H28（裁判官1、市職員1、他市1）、H27（介護施設等関係8、弁護士1）

- 虐待の相談者は、どの年度も本人及び介護支援専門員が多く、合わせると5割を超えている。

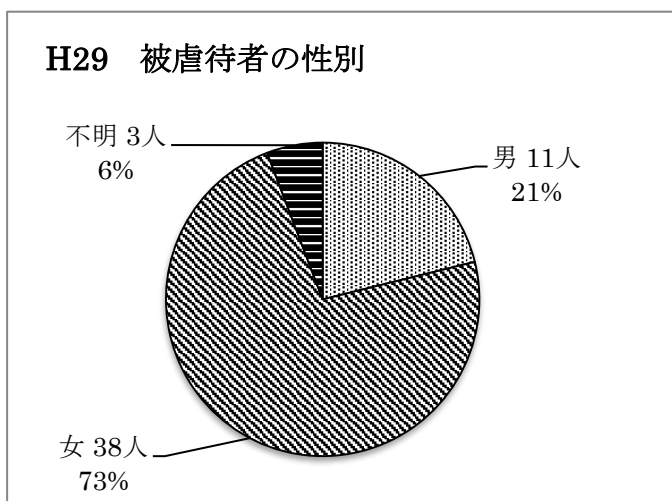
##### ■ 相談内容について

	緊急保護	状況確認	養護者支援	介護施設 職員の対応	介護サービス 事業者の対応	その他※	計
H29	2 4%	40 77%	3 6%	6 11%	0 —	1 2%	52
H28	3 7%	33 83%	4 10%	0 —	0 —	0 —	40
H27	6 7%	53 62%	8 10%	13 15%	5 6%	0 —	85

※ その他…H29（内容不明）

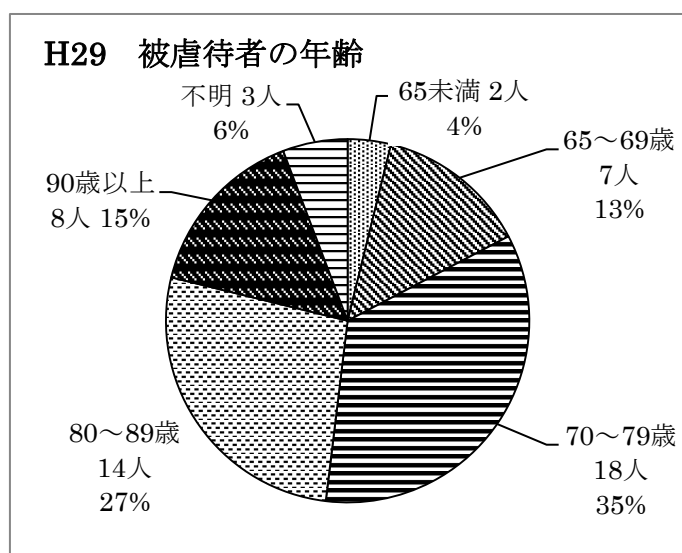
- 虐待の相談内容は、状況確認が多いが、緊急保護の相談もある。続いて介護職員の対応、養護者支援となっている。

## ■ 被虐待者について



	男性	女性	不明	計
H29	11 21%	38 73%	3 6%	52
H28	9 22%	31 78%	0 —	40
H27	11 13%	72 85%	2 2%	85

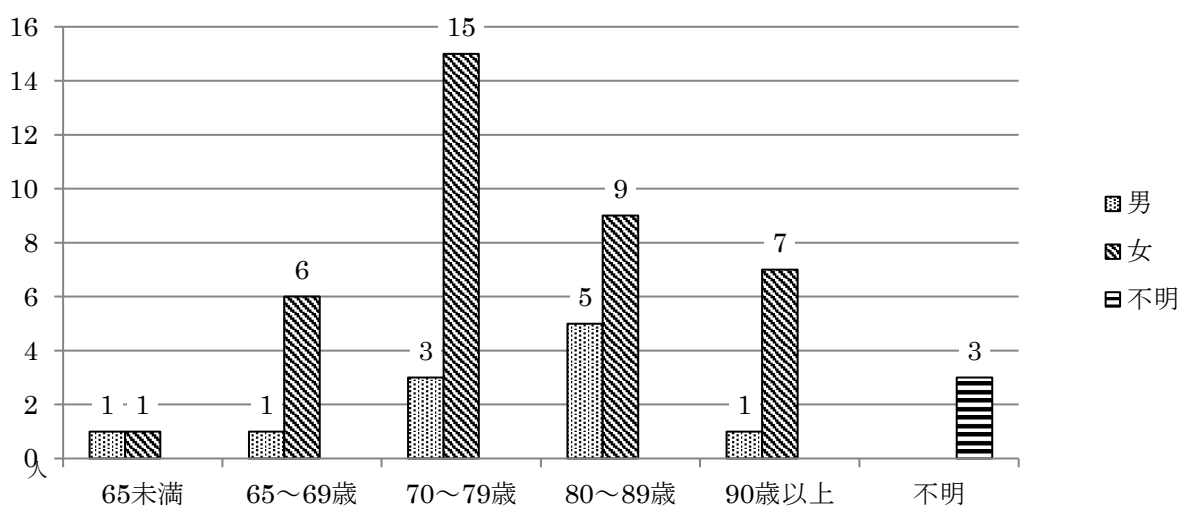
- 被虐待者の性別は、どの年度も女性が全体の7割以上を占めており、高い割合になっている。



	65未満	65~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳以上	不明	計
H29	2 4%	7 13%	18 35%	14 27%	8 15%	3 6%	52
H28	0 —	4 10%	17 43%	16 40%	3 7%	0 —	40
H27	0 —	13 15%	26 31%	32 38%	7 8%	7 8%	85

- 被虐待者の年齢は、どの年度も70~79歳と80~89歳の割合が高くなっている。

### H29 被虐待者の年齢別性別

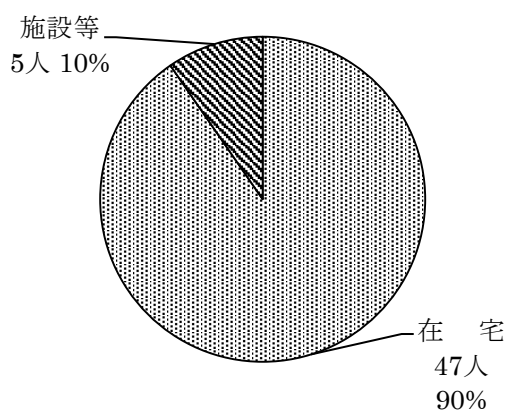


H29	男性	女性	不明	計
65 未満	1	1		2
65~69 歳	1	6		7
70~79 歳	3	15		18
80~89 歳	5	9		14
90 歳以上	1	7		8
不明			3	3
計	11	38	3	52

● 平成 29 年度の被虐待者は、70～79 歳の女性の数が、一番多い。

※空白は「0」とする

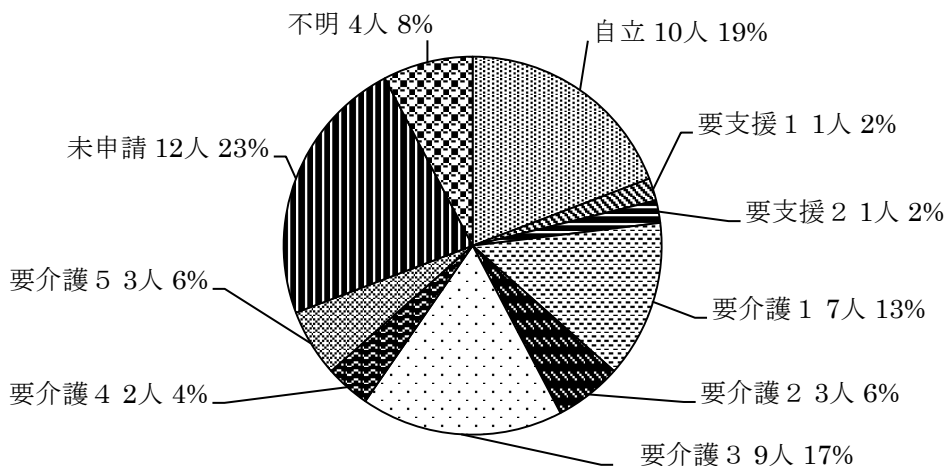
### H29 被虐待者の居住地



	在宅	施設等	不明	計
H29	47 90%	5 10%	0 —	52
H28	40 100%	0 —	0 —	40
H27	69 81%	13 15%	3 4%	85

● 被虐待者の居住地は、どの年度も、在宅が占める割合が高く、平成 28 年度は 100 パーセント在宅である。

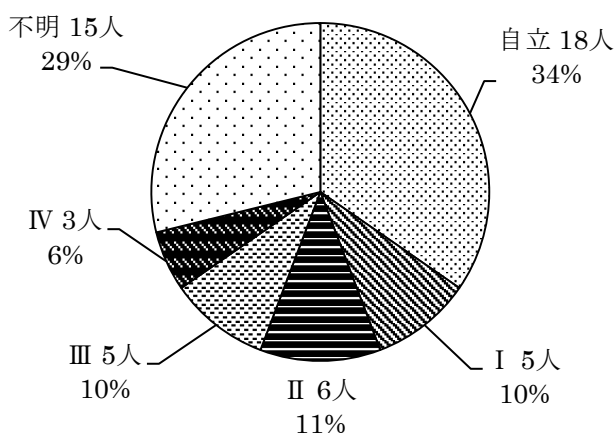
### H29 被虐待者の要介護度



	自立	支1	支2	要1	要2	要3	要4	要5	未申請	不明	計
H29	10 19%	1 2%	1 2%	7 13%	3 6%	9 17%	2 4%	3 6%	12 23%	4 8%	52
H28	12 30%	0 —	3 7%	5 13%	8 20%	3 7%	2 5%	0 —	7 18%	0 —	40
H27	8 9%	1 1%	4 5%	11 13%	15 18%	5 6%	6 7%	7 8%	19 22%	9 11%	85

- どの年度も、被虐待者のうち要支援・要介護認定を受けている人が、全体の5割以上となっている。

### H29 被虐待者の認知自立度



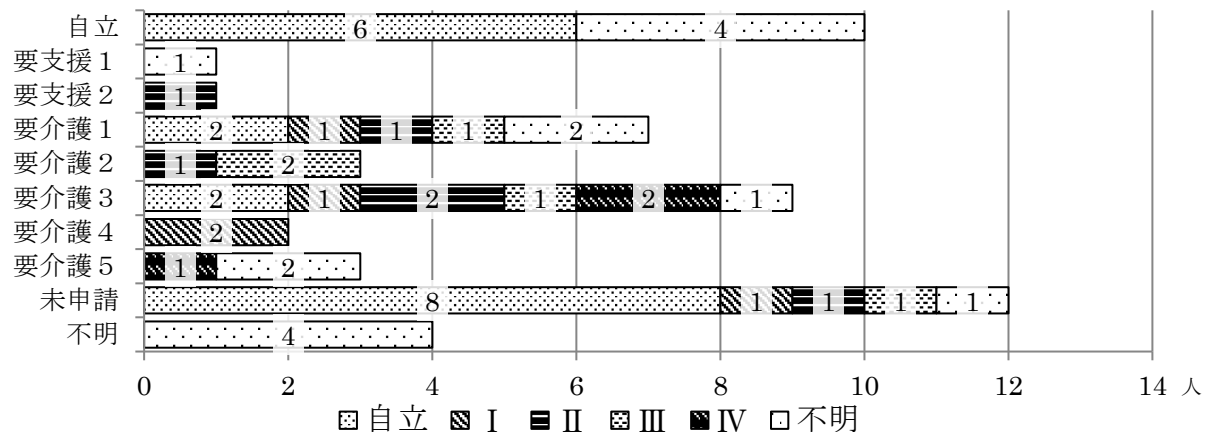
(注) 認知症の程度

- I …何らかの認知症を有するがほぼ自立
- II …日常生活に支障を来たす症状等が多少見られるが、誰かが注意すれば自立
- III …日常生活に支障を来たす症状等がときどき見られ、介護が必要
- IV …日常生活に支障を来たす症状等が頻繁に見られ、常時介護が必要
- M …著しい精神症状や問題行動等が見られ、専門医療が必要

	自立	I	II	III	IV	M	不明	計
H29	18 34%	5 10%	6 11%	5 10%	3 6%	0 —	15 29%	52
H28	9 30%	4 2%	1 7%	3 13%	1 20%	0 —	22 5%	40
H27	18 9%	9 1%	11 5%	4 13%	3 18%	1 6%	39 7%	85

- どの年度も、被虐待者の3分の1以上に認知症の症状がある。

### H29 被虐待者の要介護度別認知自立度

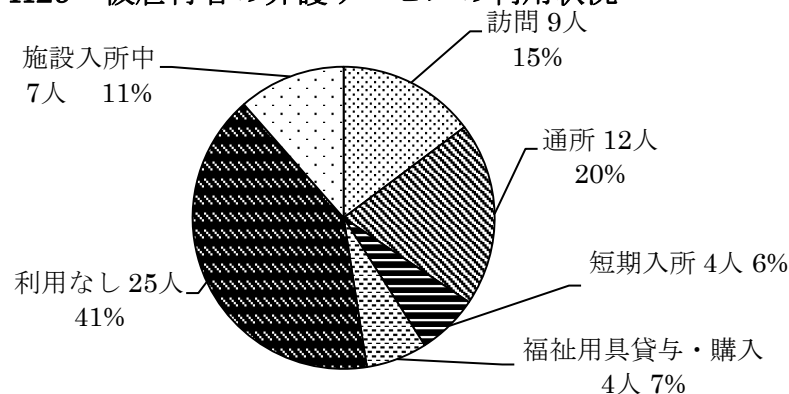


H29	自立	支1	支2	要1	要2	要3	要4	要5	未申請	不明	計
自立	6			2		2			8		18
I				1		1	2		1		5
II			1	1	1	2			1		6
III				1	2	1			1		5
IV						2		1			3
不明	4	1		2		1		2	1	4	15
計	10	1	1	7	3	9	2	3	12	4	52

※空白は「0」とする

- 平成29年度の要支援・要介護認定を受けている被虐待者の半数に認知症の症状がある。要介護認定を受け、認知の自立度がI～IVの人は16人であり、3割になる。

### H29 被虐待者の介護サービスの利用状況



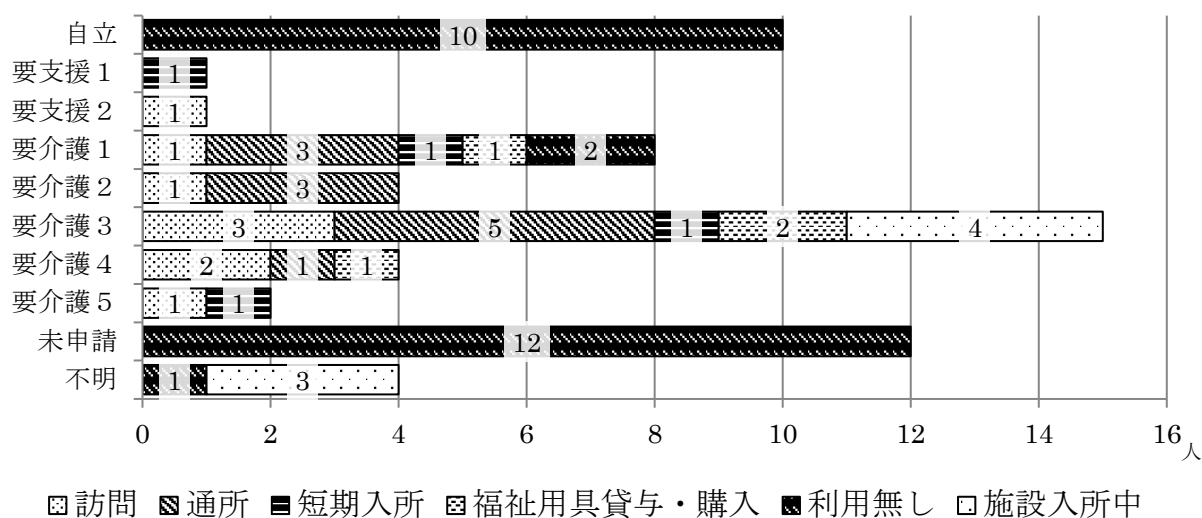
- 被虐待者の介護サービスの利用状況は、総回答数のうち半数以上が何らかのサービスを利用している。

平成29年度は、通所サービス、訪問サービス、施設入所中の順に多くなっている。

	訪問	通所	短期入所	福祉用具	利用なし	施設入所中	記入なし	計
H29	9 14%	12 20%	4 7%	4 7%	25 41%	7 11%	0 —	61
H28	4 8%	16 32%	5 10%	2 4%	21 42%	0 —	2 4%	50
H27	13 12%	32 31%	6 6%	6 6%	32 31%	14 13%	1 1%	104

※複数回答可

## H29 被虐待者の要介護度別介護サービス利用状況

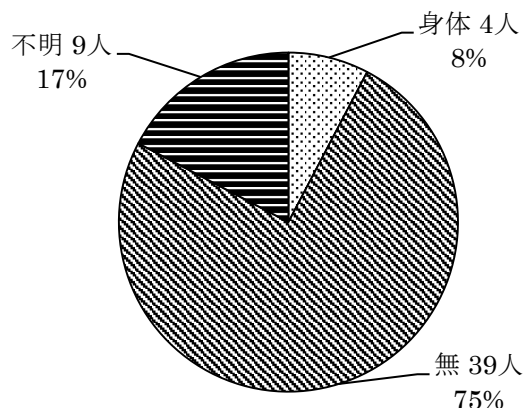


H29	自立	支1	支2	要1	要2	要3	要4	要5	未申請	不明	計
訪問			1	1	1	3	2	1			9
通所				3	3	5	1				12
短期入所		1		1		1		1			4
福祉用具				1		2	1				4
利用なし	10			2					12	1	25
施設入所中						4				4	7
計	10	1	1	7	4	15	4	2	12	5	61

※空白は「0」とする。複数回答可

- 平成 29 年度の介護認定を受けている人で介護サービスを利用している人は 32 人で、半数を占めている。訪問サービスは、要支援 2 から要介護 5 の人が、通所サービスは、要介護 1 から 4 の人が利用している。短期入所サービスは、要支援 1、要介護 1、要介護 3、要介護 5 の人が、福祉用具貸与・購入サービスは、要介護 1、要介護 3、要介護 4 の人が利用している。施設入所中の人は要介護 3 である。

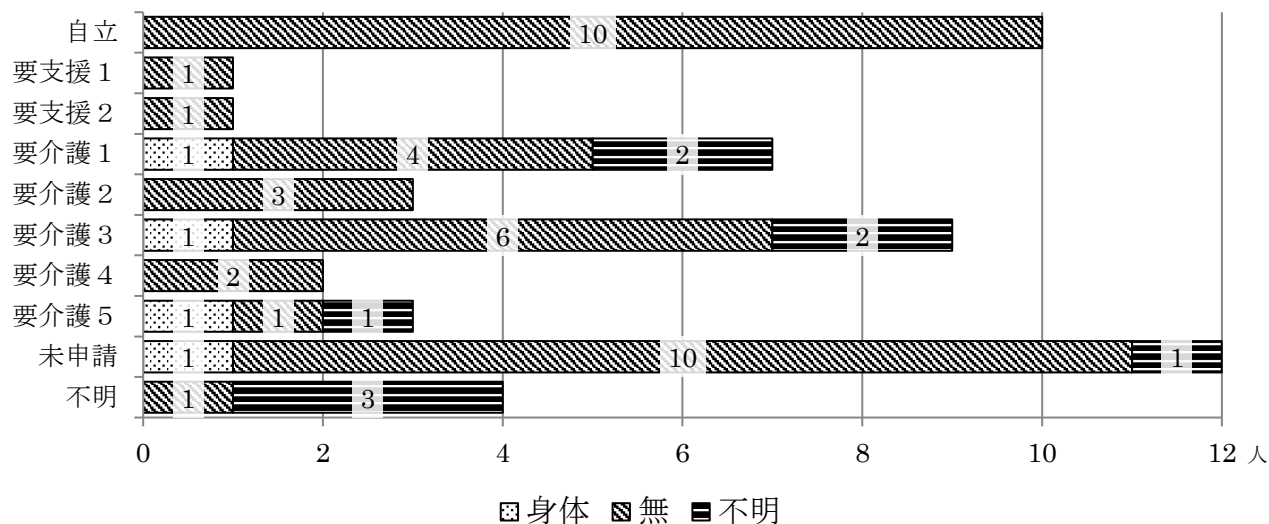
### H29 被虐待者の身体障害者手帳の有無



	身体	なし	不明	計
H29	4 8%	39 75%	9 17%	52
H28	9 22%	29 73%	2 5%	40
H27	13 15%	51 60%	21 25%	85

- 被虐待者が身体障害者手帳を取得している割合は、1～2割程度である。

### H29 被虐待者の要介護度別身体障害者手帳の有無

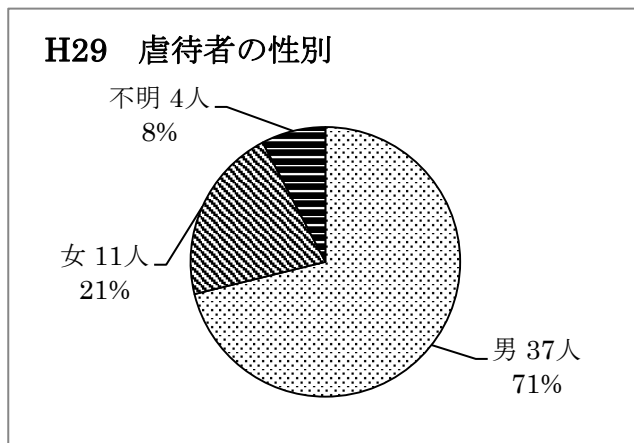


H29	自立	支1	支2	要1	要2	要3	要4	要5	未申請	不明	計
身体				1		1		1	1		4
なし	10	1	1	4	3	6	2	1	10	1	39
不明				2		2		1	1	3	9
計	10	1	1	7	3	9	2	3	12	4	52

※空白は「0」とする

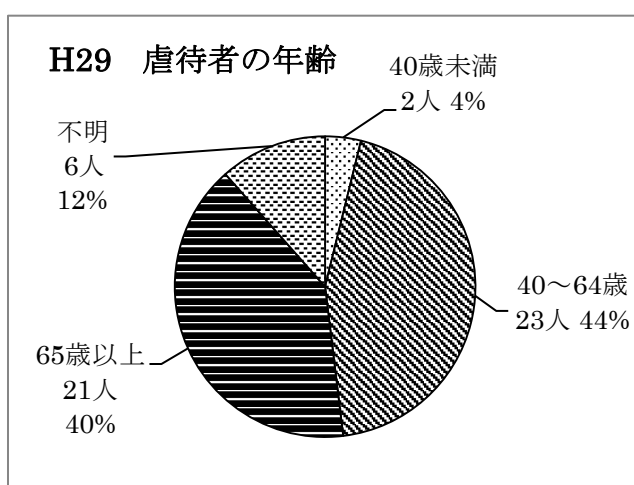
- 平成29年度の介護認定を受けている人で身体障害者手帳を取得している人は3人であり、要介護1、要介護3、要介護5の人であった。

■ 虐待者について ※H28 については被虐待者に対して虐待者が 2 名の事例あり



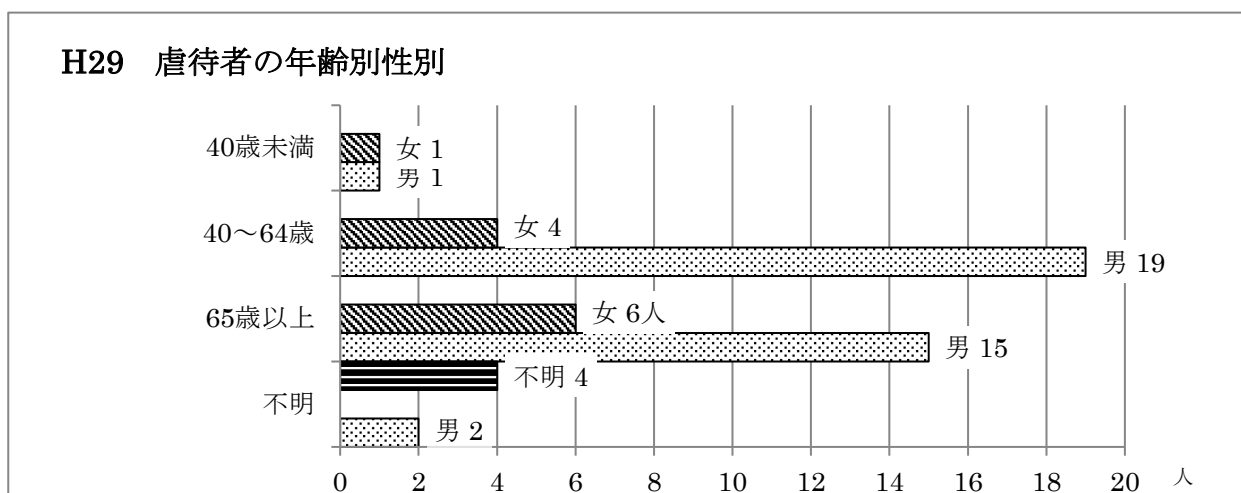
	男性	女性	不明	計
H29	37 71%	11 21%	4 8%	52
H28	30 73%	11 27%	0 —	※41
H27	46 54%	28 33%	11 13%	85

● 虐待者の性別は、どの年度も男性性が全体の 7 割以上を占めており、高い割合になっている。



	40歳未満	40～64歳	65歳以上	不明	計
H29	2 4%	23 44%	21 40%	6 12%	52
H28	4 10%	24 59%	12 29%	1 2%	※41
H27	8 10%	39 46%	24 28%	14 16%	85

● 虐待者の年齢は、どの年度も 40～64 歳が一番多く、続いて 65 歳以上となっている。



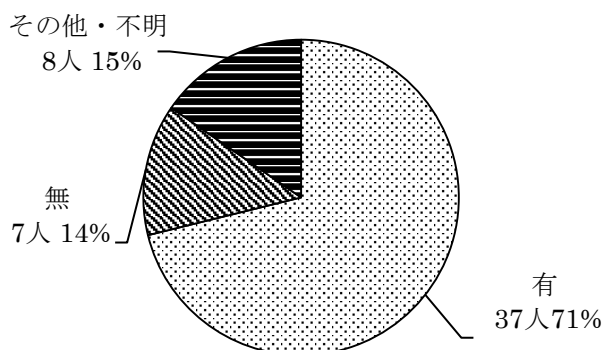
H29	男性	女性	不明	計
40歳未満	1	1		2
40～64歳	19	4		23
65歳以上	15	6		21
不明	2		4	6
計	37	11		52

● 平成 29 年度の虐待者の性別と年齢では、40 歳以上の男性が 34 人で、一番多く、6 割を超える。

※空白は「0」とする



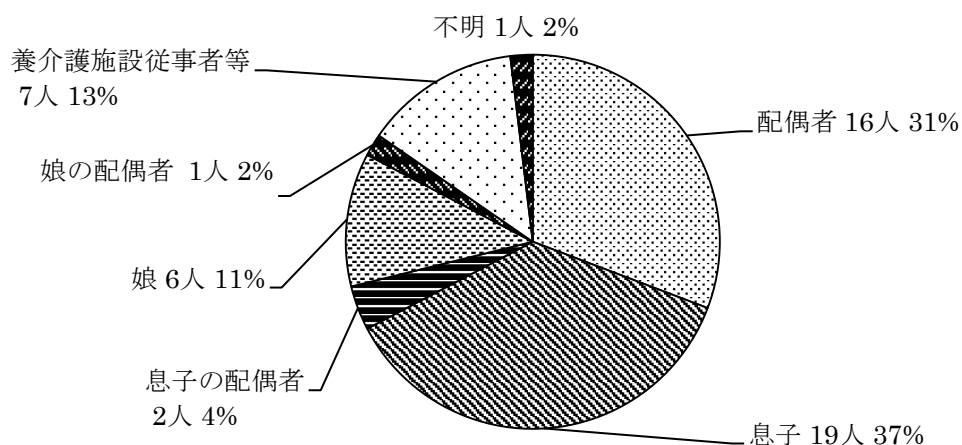
### H29 虐待者の高齢者との同居



	有	無	不明	計
H29	37 71%	7 14%	8 15%	52
H28	36 88%	5 12%	0 —	※41
H27	62 73%	6 7%	17 20%	85

● 虐待者と高齢者は、どの年度も7割以上が同居している。

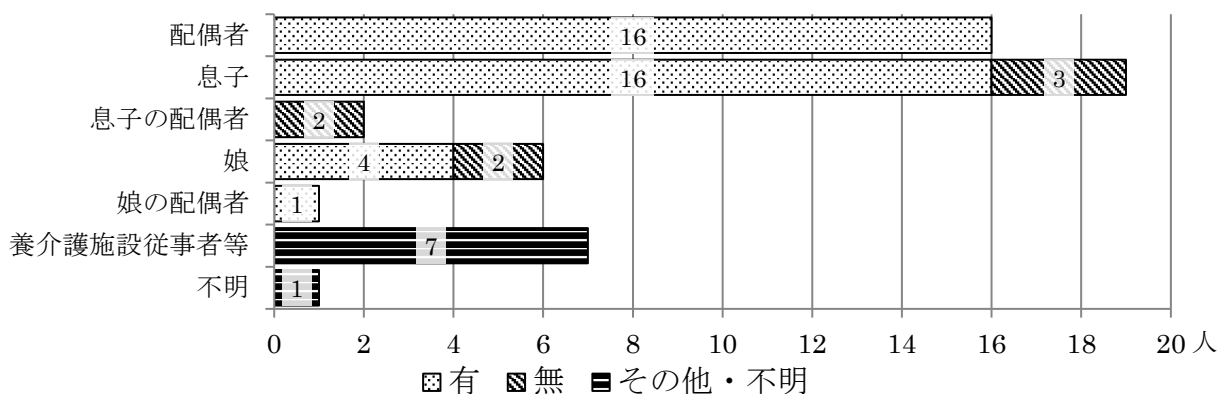
### H29 虐待者の高齢者との続柄



	配偶者	息子	息子の配偶者	娘	娘の配偶者	兄弟姉妹	孫	内縁関係者	養介護施設従事者等	不明	計
H29	16 31%	19 37%	2 4%	6 11%	1 2%	0 —	0 —	0 —	7 13%	1 2%	52
H28	8 20%	21 51%	1 2%	4 10%	0 —	2 5%	3 7%	2 5%	0 —	0 —	※41
H27	22 26%	20 24%	2 2%	17 20%	0 —	0 —	5 6%	1 1%	14 16%	4 5%	85

● 虐待者と高齢者との続柄は、年度でばらつきがあるものの、配偶者と息子の人数が多くなっている。

### H29 虐待者の高齢者との続柄別同居の有無

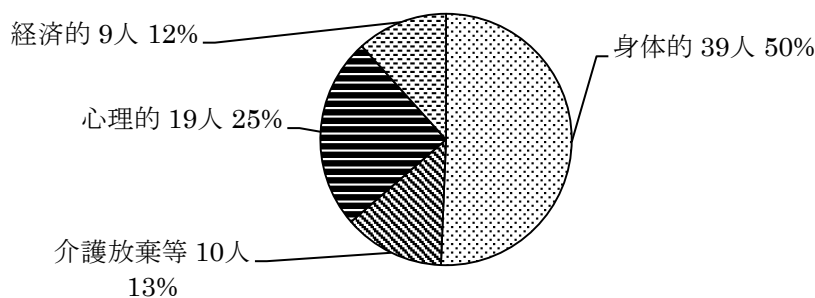


H29	配偶者	息子	息子の配偶者	娘	娘の配偶者	養介護施設従事者等	不明	計
有	16	16		4	1			37
なし		3	2	2				7
不明						7	1	8
計	16	19	2	6	1	7	1	52

※空白は「0」とする

- 平成29年度の虐待者の配偶者及び息子は、ほとんどが高齢者と同居をしている。

### H29 虐待種別

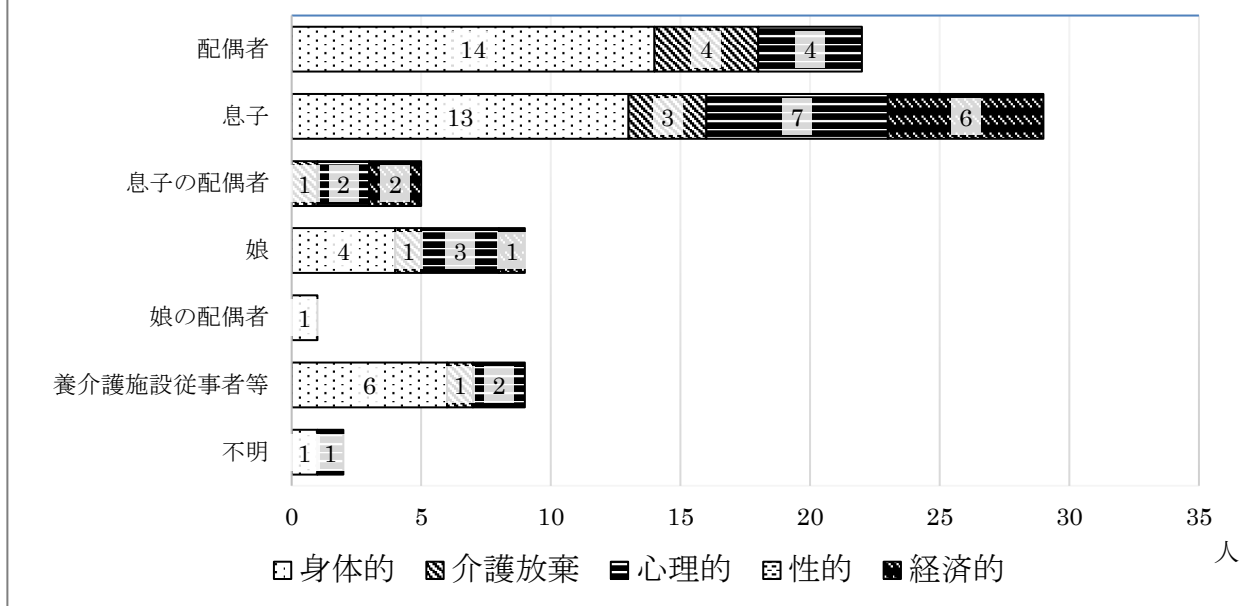


	身体的	介護放棄	心理的	性的	経済的	計
H29	39 50%	10 13%	19 25%	0 —	9 12%	77
H28	35 54%	6 9%	15 23%	0 —	9 14%	65
H27	70 72%	10 10%	4 4%	0 —	13 14%	97

※複数回答可

- 虐待の種別は、どの年度も総回答数と比べ半数以上が身体的虐待である。続いて心理的虐待である。

## H29 虐待者の高齢者との続柄別虐待の種別

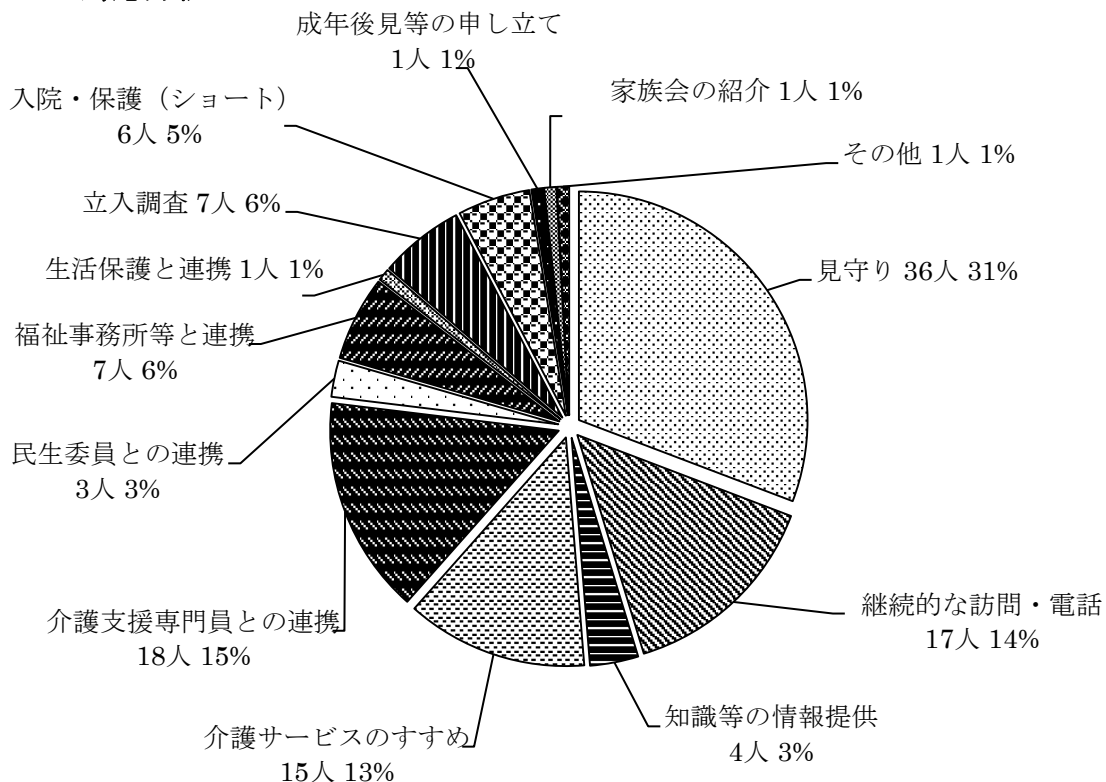


H29	配偶者	息子	息子の配偶者	娘	娘の配偶者	養介護施設従事者等	不明	計
身体的	14	13		4	1	6	1	39
介護放棄	4	3	1	1		1		10
心理的	4	7	2	3		2	1	19
性的								0
経済的		6	2	1				9
計	22	29	5	9	1	9	2	52

※空白は「0」とする

- どの虐待者にもほぼ身体的虐待が見られ、高齢者の子世代である、息子、息子の配偶者、娘に経済的虐待が見られる。

### H29 対応方法



	見守り	継続的な訪問・電話	知識等の情報提供	介護サービスのすすめ	介護支援専門員との連携	民生委員との連携	福祉事務所等と連携	生活保護と連携	立入調査	入院・保護（ショート）	やむ得ない事由で措置	成年後見人等の申し立て	家族会の紹介	その他	計
H29	36 31%	17 14%	4 3%	15 13%	18 15%	3 3%	7 6%	1 1%	7 6%	6 5%	0 —	1 1%	1 1%	1 1%	117
H28	32 31%	15 14%	2 2%	12 11%	18 17%	0 —	10 10%	2 2%	2 2%	9 9%	0 —	0 —	0 —	2 2%	104
H27	44 23%	30 15%	4 2%	25 13%	31 16%	8 4%	20 10%	3 1%	13 7%	8 4%	0 —	0 —	1 1%	7 4%	194

※複数回答可

- 虐待への対処法について、見守りが総回答数の約3割で一番多く、次いで介護支援専門員との連携、継続的な訪問・電話、介護サービスのすすめの順となっている。